

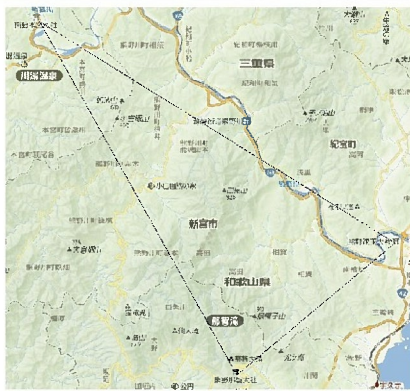
なとり

歴史散策③

名取熊野三社

今回は、高銘にある名取熊野三社を紹介します。

高銘の名取熊野三社は、紀州熊野三社の方角関係と同様に仙台湾を熊野連山と取川を熊野川、高銘丘陵を熊野連山に横断全国です。〇〇社以上ある熊野神社の中でも唯一、本宮、新宮、那智神社が、別々に勧請されています。



名取熊野三社のひとつ、熊野神社(旧新宮社)は、東



熊野神社本殿(奥の院)

本殿は江戸初期の熊野連山として興り有形文化財に指定されています。本宮社は、社入口の説明書きによると十二神とも称され、准御子神(つみこのかみ)を主神としておまつりされています。本殿が現在地に移されたのは万治元年(1658)年で、元は現在より南に500メートルほど離れた小館と称する山に鎮座していたと伝えられています。

那智神社は、高銘山羽集にあり、その後保安(4年)12023年に名取老女が紀州熊野三社の那智大社の分霊を合祀(ごうし)して那智神社と改称したとあります。



熊野那智神社

中心的存在として陸奥を統一江時代にも歴代仙台湾藩士の種々寄進奉納を受けたとされています。春秋(4月・10月)の例祭時には熊野宮神楽という神楽が披露されています。



名取熊野三社の位置

上映会
SHOKKI
我妻和樹監督により生み出された映画「波谷谷」に登場する人びとの上巻巻が公開されています。映画の舞台は「豊後前」の南三陸町(倉地区)波谷。海の恵みと、身に受け地域と深く関わり合いなが

ら生きている人たちの物語。タイトルの通り、波谷谷で暮らす人びとの日常ドキュメンタリー映画となりました。2008年3月から2011年3月11日までの波谷谷が取り残された「普通」の人びとが「過疎」している現実と戦いながらも明るく溢れる住民の様子が映し出されています。「ドキュメンタリー映画はある面白くない」と思っている方もいませんか?しかし、この作品はこれまでのドキュメンタリーとは違っています。イメージを覆されます。また、地方の人の暮らし、若者の頑張りを是非知ってほしい。とくにたくさんの方々にみてほしい」と上映の企画者、尚綱学院大・菊池哲彦准教授(46)が熱弁しました。作品は約2時間、上映後休演を挟み我妻監督を招いてのトークタイムを設けています。学生、地域の方対象となっており、時間はありますがまだらび見を運んで下さい。

日時 6月4日(土) 13時
会場 尚綱学院大(号)号
聴取1F(5A教室)受付
等はありませんので当日、大学へお越しください。お問い合わせはメール: a_kikuchi@shokei.ac.jp
◇ 我妻和樹監督 ◇

ハナモモ通信
プレゼント企画
皆さんからの「ご意見」ご感想と情報提供をお待ちしております。5月号プレゼント企画として、3名の方に「ベガルタバンダナセット」をプレゼント。
住所: 氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を讀んでの感想、要望などを記入してメールかファクスまたは郵送で「ハナモモ通信プレゼント」係まで。
(住所) 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-10
033-333-3333



ハナモモ通信 QRコード